

角館 2023

Photo by Kayoko



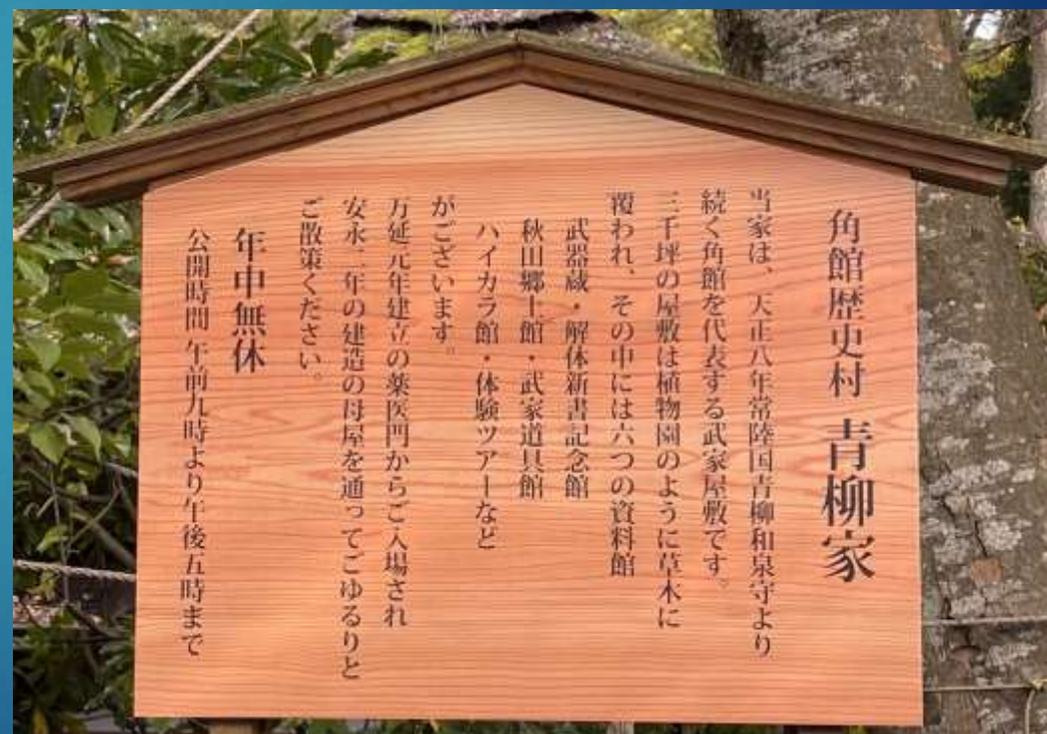
角館 (001)



角館 (002)



角館 (003)



角館 (004)



角館 (005)



角館 (006)



角館 (007)



角館 (008)

四百年の血脈

秀吉の天下統一の頃、佐竹義宣は水戸に召寄せられましたが、関が原の戦いのときに西軍に組したとおもわれ、慶長七年(1602)、秋田に移封されました。芦名氏の家臣として常陸佐竹氏の国替により角館に入った青柳家は、芦名断絶後、水戸時代と同様佐竹氏の家臣となります。以来明治の世を迎えるまで佐竹氏の忠実な家臣として仕え主君の繁栄を支え続けました。

青柳家の象徴でもある築医門は、万延元年(1860年)に藩への貢献が認められ佐竹家が特に許可したものです。門はその家の位や威信を顯すとされていた当時、家老職の屋敷よりも立派な門構えは青柳家の誇りでした。そして今、その肅とした姿は角館の象徴となり、人々の営みを見守り続けています。

角館 (009)

青柳家は16代続いた家柄で、南部境目山役という秋田県と岩手の境を守る役職につき、石高は200石でした。

敷地の広さは、9,900㎡(3千坪)です。

角館 (010)



角館 (10)



角館 (012)



角館 (013)



角館 (015)

構えて持たないと上げられない重さであった



角館 (016)



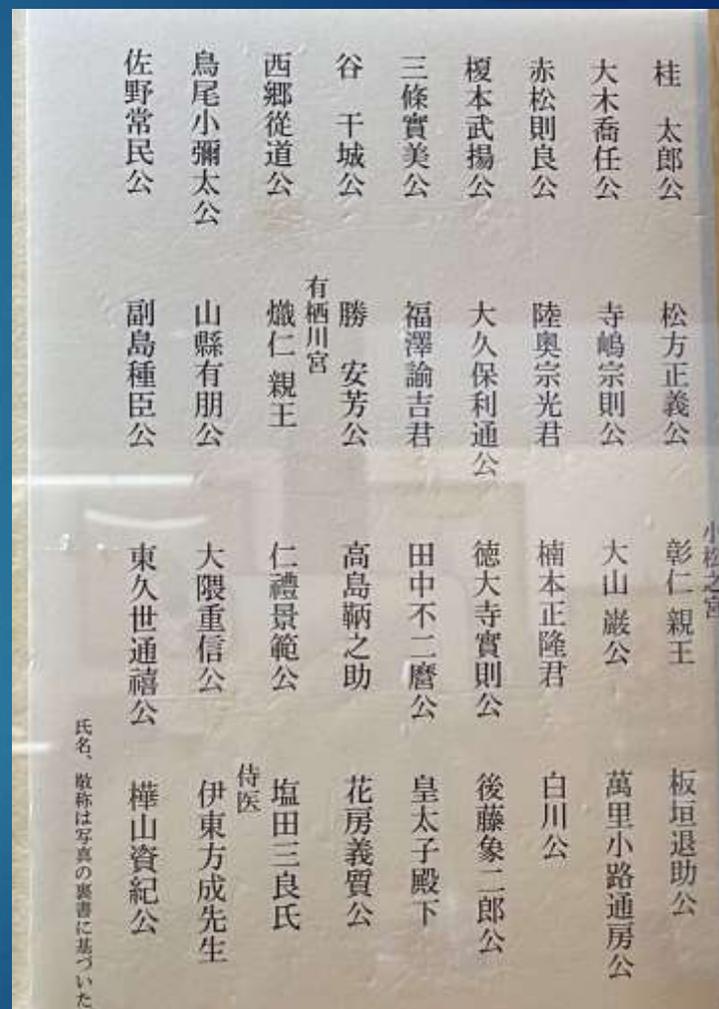
角館 (017)



角館 (018)



角館 (019)

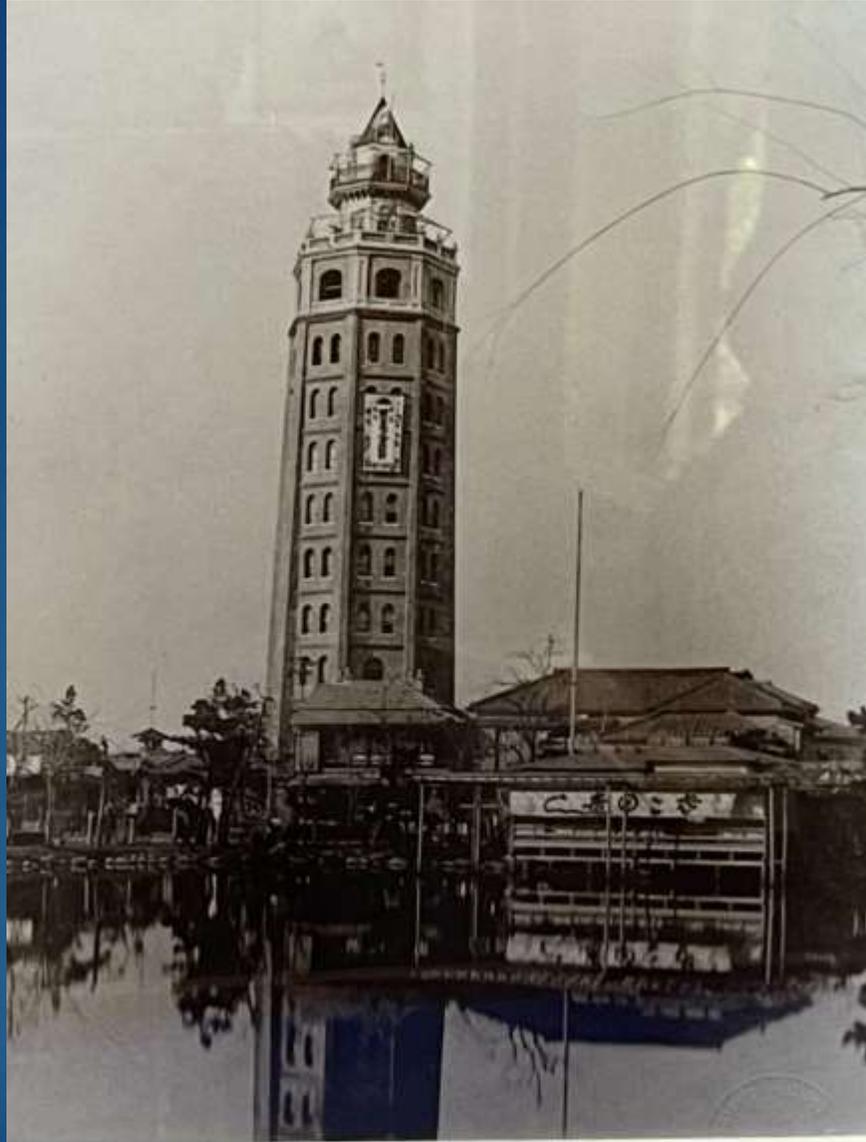


角館 (020)



角館 (021)

徳川慶喜



角館 (022)

東京浅草の
十二階堂
(凌雲閣)

Twelve-storied
Building in Tokyo
named
Ryōunkaku

明治25年（1892）の建造当時、レンガ造りの高層建物は日本初だったため話題になりました。しかし大正12年（1923）の関東大震災により倒壊してしまいました。

Ryōunkaku was built in 1892 and it was the first high-rise building made of bricks in Japan.

However, it collapsed by the Great Earthquake of 1923.

角館 (022-2)



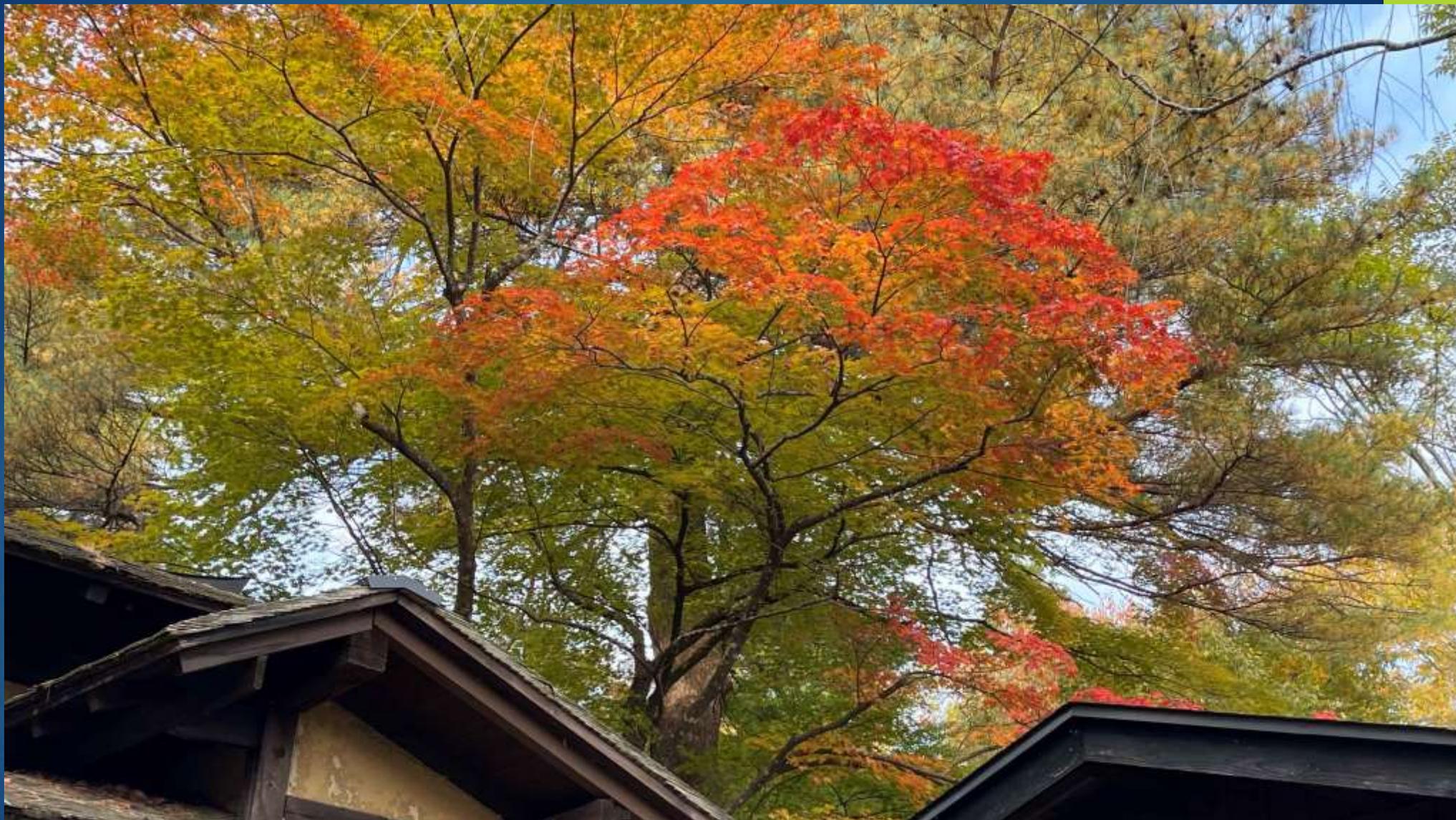
角館 (023)



角館 (024)



角館 (025)



角館 (027)



角館 (028)



角館 (029)



角館 (030)



角館 (031)



角館 (032)